

・順信寺の予定

○ 4月12日午後0時より 「定例法話会」 お話していただく布教使さんは、湧別町上芭露 聖明寺 菊地得典師です。※先月号では川原興文師となっていました、変更の連絡を受けました。

○ 4月28日午後1時より 「親鸞聖人ご命日のお参り」

○ 5月12日午後0時より 「定例法話会」 お話ししていただく布教使さんは、苫前町九重 恵嶺寺真栗 義丸師です。

○ 5月28日午後1時より 「親鸞聖人ご命日のお参り」

◎ 3月13日午後1時より「おみがきもの」(順信寺の仏具みがき)が行われました。御協力頂いた方々は、順不同で、長屋文恵さん、野口恵美子さん、金子信子さん、吉田道子さん、木村富美子さん、鳥羽澄子さん、大和幸子さん、駒形直美さん、山川幸子さん、黒田キヨ子さん、村田妙子さん、山本多美子さん、西澤恵津子さん、禿朋隆、禿覚英、禿優子、禿和枝です。有り難うございました。ピカピカの仏具で春のお彼岸のお参りをさせていただきました。

◎3月21日に、ピカピカの仏具で、そして、春を告げるネコヤナギを仏花として、多くの人々と共に春彼岸法要を勤めさせていただきました。若院と住職の二人でお参りした去年の事を思うと嬉しいかぎりです。まだまだ新型コロナウイルス問題は続きますが、感染に注意して仏法聴聞を行ってまいりましょう。

心がダルくなっている人々に対して精神科医が応えるとしたら、おそらくダルい心を軽くしたり、明るく晴らすような結果を出すことが目的になるでしょう。私が応える時には、生まれてしまった意味や今までの人生の意味等を、隣を歩きながら探っていきます。何度もこの作業を繰り返す内に、初めは晴天のような人生を望んでいた人々は、曇天や雨の中を歩くのが自分の人生なのかもしれないと思い至って、雨の中を嫌だ嫌だと言いながら、時には立ち止まって雨宿りしながら歩くという、新しい生き方に出会っていきます。誰かは晴天の人生を、誰かは雲中の人生を歩き、誰かは暴風雨の中に立ち止まる人生を歩く……。楽な人生は素敵に見えるけれど、それは別の誰かの人生であって、私の人生は「今、ここ」に生きていること以外にはないのです。……

～そうなのです、私は、今、ここに生きている私以外のところにはないのです。さあ、その私をぼちぼちと歩んでまいりましょう。仏教に学ぶ基礎は「どう生きるのか」ではなく、「生きるということは、どういうことか」である、と仰っていた方がおられました。

「 変換 死に向かって 進んでいるのではない 今をもらって 生きているのだ

今ゼロであって当然の私が 今生きている

ひき算から足し算の変換 誰が教えてくれたのでしょうか

新しい生命 嬉しくて 踊っています

“いのち 日々あらたなり” うーん わかります 」

(鈴木章子「癌告知のあとで」より)

・ 稚内大谷高校が行っておりましたペットボトルのキャップを回収して福祉事業に役立てる事業に協力してまいりましたが、この度、残念ながらその事業が諸般の事情で中止となりました。今まで御協力頂きまして誠に有り難うございました。

・ 東本願寺では「おてらおやつクラブ」という恵まれない子供達に食べ物（賞味期限が2021年6月以降のもの）や洗剤等の生活用品をご本尊にお供えして、その後、送る活動をしています。御賛同、御協力いただける方は、お寺までご連絡ください。締め切り4月23日です。

・ 春は別れと出会いの時、誰も皆、豊かな出会いをみずみずしい人生を願います。そして、願われてきたのです。

「おやすみなさい」「お父さんありがとう またあした 会えるといいね」と手を振る

テレビを観ている顔を こちらに向けて

「おかあさん ありがとう またあした 会えるといいね」手を振ってくれる

今日一日の充分が 胸一杯にあふれてくる」

(鈴木章子「癌告知のあとで」より)

・ 忠峰コーナー

「雪融けて 歩道に溜まる 迷い水」

「ちじかんで 四月の中の 雪の朝」